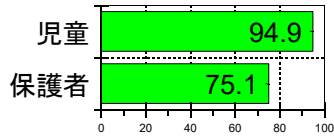


※自己評価 A…とてもよく取り組めている B…ほぼ取り組めている
C…工夫・改善が望まれる D…改善が必要である

「確かな学力」の育成

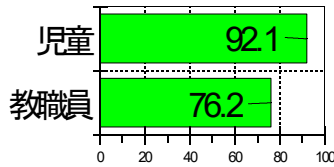
わかる授業

わかる授業の評価

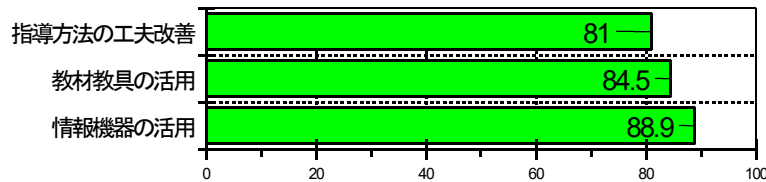


基礎・基本の定着

基礎基本定着の取組の評価



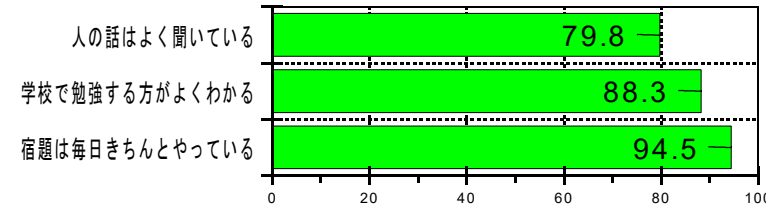
指導方法の工夫改善



- 情報機器や教材・教具等を効果的に活用したり、操作的学習活動を通して体験的に理解させたりする等、楽しく学べる分かりやすい授業展開に努めます。
- 課題解決に向けての思考過程を記述させたり、ICT機器を活用し、相手に分かりやすく説明させたりする等、言語活動を積極的に取り入れた授業を展開します。
- 児童が相互に学び合う場を大切に指導法の改善のために、グループ活動や発表形式等の学習形態の工夫に努めます。

学習習慣

学習習慣の定着 A



- 分かりやすい「家庭学習の手引き」を作成し、家庭との連携を密にして家庭学習や学習用具の点検・準備の習慣化を図ります。
- 読書活動を充実させ、学年に応じた目標冊数を設定することで、読書に親しむ態度を定着させ、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていきます。
- 「誠(連絡帳)」に掲載している「岩っこ授業のルール」を基に、学習規律の定着を図るとともに「聞き方名人」「発表の仕方」を各学年に常時掲示し、各学年の発達段階に応じた聞く力や話す力の育成に努めます。

わかりやすく教えてくれる A

- 教材の精選を行い、資料を効果的に活用したり、体験を重視したりする等、児童の興味関心を大切に授業を展開します。
- 1時間の学習内容や流れを明確にし、個に応じた指導を工夫します。
- 可能な限り、複数教員での指導や通級指導教室での指導体制を充実させます。

基礎・基本定着への取組 A

- 思考の土台としての学年の発達段階や教科の特性に応じたノート作りを行い、「どのように学んできたか」等の学習過程が分かるノートづくりへの意欲を高め、学習習慣の確立に努めます。
- 朝の活動を計算・漢字のスキルアップにも活用し、基礎学力の確実な定着を図ります。
- 既習事項をまとめた学習カードや国語辞典を活用する等、「発達段階や個々の実態に応じた支援」で基礎学力の定着を図ります。

指導方法の改善に努めている A

令和元年度 学校評価の結果 課題と改善策

信頼される学校づくり

開かれた学校

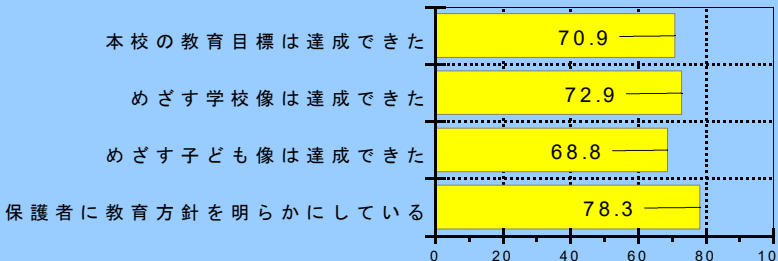
開かれた学校づくり A

- ◇子どもや保護者の悩み、相談に適切に対応している 75.7
- ◇保護者や地域住民に対して、子どもの状況を知らせることができている 81.2
- ◇保護者や地域住民の意見を取り上げようとしている 72.6
- ◇保護者に対して学習内容や進みぐあいを知らせることができている 75.6
- ◇保護者や地域との連携はうまくいっている 77.1

- 保護者の皆様のご意見に真摯に耳を傾けるとともに、家庭や地域住民に、教育方針や教育活動について、分かりやすくホームページや学校・学年だより等を通じて積極的に情報発信に努めます。
- 「チーム岩倉」を合い言葉に学校・家庭・地域が一体となった特色ある教育活動を展開し、地域の教育力を活用した開かれた学校を推進します。
- 学校経営課題について全教職員で取り組み、改善に努めます。

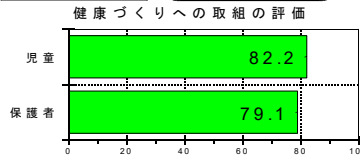
学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かであるとともに、人権感覚に優れ、力強く未来を切り拓いていく実践力のある児童を育てる。



「健やかな体」の育成

健康・体力 (健康づくり A)

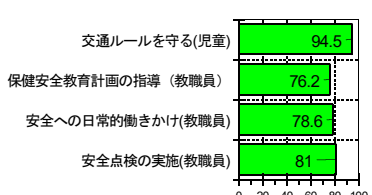


- ◇給食を残さず食べている。 85.1
- ◇休み時間には、元気に遊んでいる。 91.5

- 徒歩通学や外遊びを奨励し、運動習慣の定着と体力の向上を図ります。
- 基本的な生活習慣を定着させ、食育を通じて好き嫌いをなく食生活を啓蒙・指導します。

安全・安心な学校づくり

安全・安心 (安全・安心の取組 A)



- 安全に関する学習を継続し、「学校安全の日」や「安全朝会」の時に安全に対する意識を高めます。
- 毎月学習環境の安全点検を実施し、不具合の早期発見と早期改善に努め、非常時に迅速な対応ができる体制を整えます。

保護者・地域との連携

開かれた学校

PTA活動 A
幼小中の連携 A
地域との連携 A

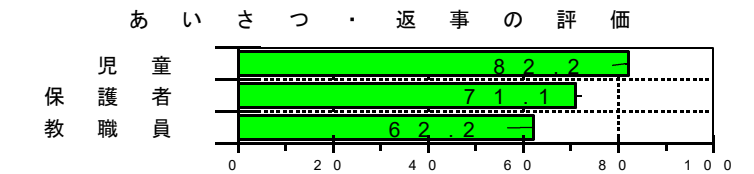
- PTA活動に参加しやすく、子どもの健やかな成長につながる活動を工夫します。
- 幼稚園・中学校と効果的な連携ができるように、連絡を密にします。
- 岩倉地域の特色を活かした教育活動を展開し、家庭や地域とともに子どもを育ててまいります。

美馬市立岩倉小学校

「豊かな心」の育成

基本的な生活習慣

あいさつ・返事 B



- 「誠」に記載している「わたしたちのきまり」を徹底します。
- 気持ちのよいあいさつや返事とは、どのようなものかを考えさせ、朝や帰りの会等で振り返りをさせることで、意識づけをし、進んで気持ちのよいあいさつや返事ができるよう指導にします。

いじめのない温かな人間関係

いじめのない学校づくりへの取組 A

- ◇学校へ行くのが楽しい。 児童 85.1 保護者 81.9
- ◇学校には仲の良い友達がいる。 93.8
- ◇友だちのよいところを認め、思いやりの気持ちをもって生活できている。 85.4
- ◇学校には、つらいことがあるとき、声をかけてくれる人がいる。 86.2

- 学校の教育活動全体で、教師と子ども、子ども同士の温かく豊かな人間関係を構築し、家庭や地域との連携を図りながら、どんな理由があっても、いじめは絶対に許されず、いじめの側が悪いということを、毅然とした態度で指導します。

道徳教育

道徳教育の推進 A

- ◇道徳的価値を内面的に自覚できるような指導方法の工夫・改善に努めている。 75.0

人権教育・特別支援教育

人権教育・特別支援教育の推進 A

- ◇子どもの発達段階や生活背景をきちんと理解し、全教科・全領域で人権教育の推進に努めている。 80.6
- ◇差別や偏見のない学級集団づくりに努めている。 88.9
- ◇学習が遅れがちな子どもに、適切な支援をしている。 80.0
- ◇子どもたちの個性を把握し、適切な支援をしている。 73.3

- 規範意識や生命の尊重、自尊感情や他者を思いやる心情を高め、自ら生活を振り返り生活に生かしていく実践的な態度を育てます。
- 教職員の人権感覚を一層磨き、差別や偏見を見逃さず、人権を大切に児童と集団を育てます。
- 児童一人一人の特性理解や教育的ニーズの把握に努め、一人一人の発達と個性に応じた適切な支援をしていきます。

生徒指導

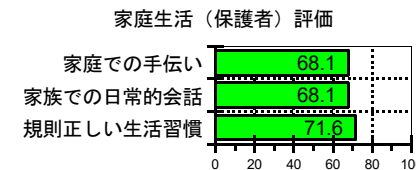
生徒指導の推進と充実 B

- ◇様々な問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制の整備 82.2
- ◇問題行動防止のための早期指導への学校全体での取組 88.9
- ◇生徒指導において、家庭・関係諸機関との連携 88.9

- 問題行動の早期発見、解決に向け家庭、地域、関係諸機関と連携を密にしなから、学校を中心としたチームで積極的に計画的な生徒指導に努めます。

家庭生活

家庭生活での取組 B



- 生活科や家庭科等の学習を通して、家族の一員としての自覚を促してまいります。
- 「家庭学習の友」を活用し、規則正しい生活習慣が定着するよう、常時指導してまいります。